

親子聖書日課

[日]ヤコブは神の祝福を得るために、兄を押しつけ、又、み使いと争って勝ちました。そして「泣いて恵みを乞う」恥も外聞も捨てて、貪欲に求めました。その甲斐があつて祝福を得ました。「泣いて恵みを乞う」この貪欲さが私達にも必要です。

[月]「満ち足りると高慢になり、遂には主を忘れた」豊かな時ほど信仰の危機です。自分の力で得たと錯覚し、心が高ぶり、主を忘れるからです。そうになると、神よりも自分の考えを重んじ、霊的死を招きます。満ち足りた時こそ、へりくだりましょう。

[火]エステに行かなくても、美しくなります。主の恵みの露を受ける時、ユリのように花咲き、オリーブのように美しくなり、豊かに栄えます。この露とは、聖霊のことです。日々、聖霊の露を頂くなら、心は美しくなります。聖霊は、み言葉を通して働きます。

[水]いなごの災害は過去のことではなく、未来の主の日を預言します。その日は主を信じない人にとっては裁きの日で、確実に近づいています。「主の神殿に集め、嘆きの叫びをあげよ」礼拝に招き、悔い改めて、主に立ち帰れ、と勧めましょう。

[木]私達の生涯も、様々ないなごに食い荒らされます。貪欲、怠慢、諦めといういなごです。このいなごを退治するには、「衣を裂」いてはだめです。「心を引き裂け」心の底から悔い改めて、主に立ち帰るなら、主は災いを思い直して下さいます。

[金]この預言は、ペンテコステの日成就しました。聖霊は旧約時代、特定の人に注がれましたが、ペンテコステの日からは、全ての人に注がれ、「イエスは主」と告白できるようになりました。そして、聖霊が注がれた人達によって、世界宣教が始まりました。

[土]神が諸国民を裁くのは、ユダの民を奴隷として売り、土地を奪ったからです。人は誰でも神のかたちに造られ、「貴重な宝」高価で尊い者ですから、人間を道具のように利用する人は、裁かれます。むしろ、自分自身のように、隣人を愛しましょう。



NO.1925 2025.8/17-23

名前

	聖書	問題	答え
日	ホセア 12:1-15	ヤコブはどのようにして神と争いましたか。	
月	13:1-15	満ち足りると、どうなりますか。	
火	14:1-10	何のように主はイスラエルに臨みましたか。	
水	ヨエル 1:1-20	ああ、恐るべき日よ、主の日はどうなりますか。	
木	2:1-27	衣を裂くのではなく、お前たちの何を裂くべきですか。	
金	3:1-5	主はすべての人に、何を注ぎますか。	
土	4:1-21	主は直ちにお前たちの頭上に何を返しますか。	
感想と祈りの課題			